

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公表番号】特表 2006-519076 (P2006-519076A)

【公表日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報 2006-033

【出願番号】特願 2006-504516 (P2006-504516)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/315 (2006.01)

A 6 1 M 5/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/315

A 6 1 M 5/34

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 2 日 (2007.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、

第 1 リードのらせん線を有する投与量ダイヤル・スリーブと、

2 部分ピストン・ロッドとを備え、この 2 部分ピストン・ロッドが、第 2 リードのらせん線を有する外部部分、および第 3 リードのらせん線を有する内部部分を備え、それにより、投与量ダイヤル・スリーブの線の第 1 リードが、ピストン・ロッドの外部部分の線の第 2 リードとピストン・ロッドの内部部分の線の第 3 リードとの合計に等しいことを特徴とする、医薬品送達装置において使用される駆動機構。

【請求項 2】

請求項 1 において定義される駆動機構を備える医薬品送達装置において使用されるアセンブリ。

【請求項 3】

請求項 1 において定義される駆動機構または請求項 2 に記載のアセンブリを備える医薬品送達装置。

【請求項 4】

ペン型装置である、請求項 3 に記載の医薬品送達装置。

【請求項 5】

注射器型装置である、請求項 3 または 4 に記載の医薬品送達装置。

【請求項 6】

針を備える、請求項 3 ~ 5 のいずれかに記載の医薬品送達装置。

【請求項 7】

針のない装置である、請求項 3 ~ 5 のいずれかに記載の医薬品送達装置。

【請求項 8】

医薬品をディスペンスするための、請求項 3 ~ 7 のいずれかににおいて定義される医薬品送達装置。

【請求項 9】

インシュリン、成長ホルモン、低分子量ヘパリン、それらの類似物、およびそれらの派

生物からなるグループから選択される活性化合物を含有する医薬製剤をディスペンスするための、請求項 8 に記載の医薬品送達装置。

【請求項 10】

請求項 1 において定義される駆動機構、または請求項 2 において定義されるアセンブリを提供するステップを含む、医薬品送達装置を製造する、または組み立てる方法。